

えひめ乳児保育園における保育の質向上の取り組み ～一人一人を大切に～



えひめ乳児保育園 副園長 上岡米子

【 えひめ乳児保育園の概要 】

- ◆昭和42年6月開園・・・愛媛県下で第1例目の乳児専門保育園(全国で第4例目)
- ◆事業・・・○保育所の経営 ○地域子育て支援事業 ○一時預かり事業
- ◆定員60名 (0歳児・・・18名 ・1～2歳児・・・42名)
- ◆職員・・・32名(育児休暇 2名含む)
- ◆保育方針・・・○自分を愛し、他人をも愛することのできる子どもに育てる
- ◆保育目標・・・○心身ともに豊かな子ども ○気持ちを言葉で表す子ども
○みんなと仲良く遊べる子ども
- ◆特色ある教育と保育・・・
 - 担当制で一人一人の子どもを大切に丁寧な保育
 - 肯定的な言葉かけと生活のリズムを大切に
 - 遊びの環境、わらべうた、食育を大切に ○布おもちゃを用いる
- ◆公益的な保育の取り組み・・・公開保育、乳児保育学習会の開催
愛媛大学教育学部生の保育観察
- ◆職員の資質向上の取り組み・・・
 - 園外研修・・・国・県市・日保協・全保協・コダーイ芸術教育研究所などの研修会に参加
 - 園内研修・・・クラスリーダー会・クラス勉強会・えひめ乳児研究会・えひめ乳児勉強会

〔 丁寧で温かく子ども主体の保育 〕

①担当制で、生活のリズムを重んじた肯定的で丁寧な関わり・・・

- 一人一人の子どもに担当保育士の存在。（特定の保育士等・愛着形成・自己肯定感）
- その子の育児は、担当が全て責任をもつ。（安心感と人への基本的信頼感）
- 肯定的に丁寧に関わる。急かせることなく、応答的で受容的な関わり。
（一人一人の人格の尊重・自己肯定感・主体としての自分育ち）
- 24時間を見据えた生活のリズムを保護者と協力して作り、見通しの持った生活。
（発達過程に応じた生活のリズム・一人一人の日課を守る・生活のリズムの習慣化）
- 担当保育士と、その子の決まった時間・決まった場所で、発達を見据えて食事。
（一人一人を大切にする・安心感と信頼感・欲求への丁寧な対応）
- 排泄は、個人の場所。担当保育士と二人だけの時間を共有。肌の触れ合い・清潔の気持ち良さとともに、満足感と情緒の安定。（自発的な行動）

0歳児 食事



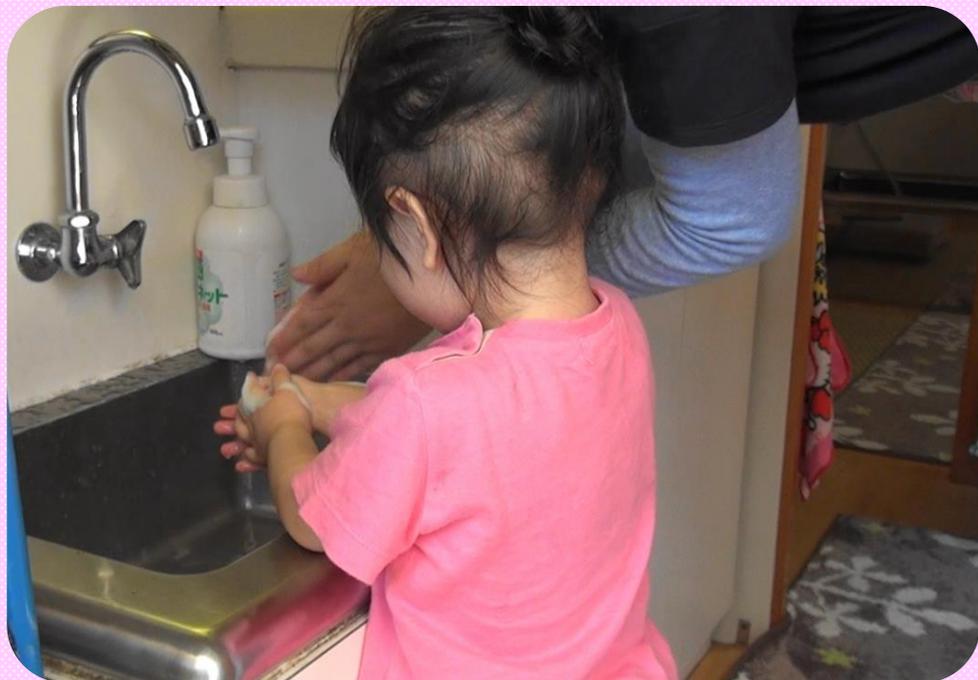
1歳児 食事



2歳児 食事



睡眠



手洗い

排泄



着脱



②子どもは遊びで発達する・・・

〔保育環境〕

- 人的環境・・・保育士の人間性（保育士の人格が子どもの人格を作る）
肯定的な内面と言葉かけ・穏やかで心地よい応答・受容と共感・振る舞い
・声のトーン・豊かな感性と愛情・笑顔とユーモア・楽しむ保育
- 養護的環境・・・温かな親しみとくつろぎの場・安全で保健的で緑に囲まれた美しい環境
・・・環境構成と工夫（音・光・色あい・家具・植物）
☆ 受け入れの場・・・排泄の場であり保護者の送迎の場
☆ 保育室・・・食事・睡眠・遊びの場（一人一人の子どもの居場所が守られる空間づくり）
家具の配置・保育士の動線・自発的、意欲的に遊べる環境
子どもの成長に合った空間と道具・静と動の空間

〔遊びの環境〕・・・（道具・時間・空間・動線）

- 子どもの遊びは、自由で楽しいもの。自由に遊べる時間と空間が鍵。
（自発的、意欲的な場）
- 遊ぶことで発達する。（運動・知的・情緒・言語コミュニケーション・社会性）
- 遊びの道具を揃える。（遊具の質・量・発達に即した遊具・基本の遊具）
- クラスに秩序（環境との関わりを通して発達・おもちゃの置き場所・クラスのルール・動線）
- わらべうたで触れ合い、子ども安らぐ。（保育士も、穏やかな心）

0歳児 保育室の様子



0歳児遊び



1歳児 保育室の様子



1歳児 遊び



2歳児 遊び



わらべうた

